



WATAKYU SEIMOA

ワタキューグループ
こころレポート
2015-2016

WATAKYU Group CSR Report

医療・福祉分野の事業を通じた社会の課題解決へ 「生きる」を支えるワタキューグループ

日本国内における少子高齢化に歯止めがかからず、法制度の整備や行政サービスの拡充が伴わないなか、ワタキューグループは、事業を通じて、社会が抱える課題を解決していくという責任を強く感じています。グループの総力を挙げてお客さまの健康で豊かな生活に寄与することで、社会に貢献していく。これがワタキューグループの目指すところです。

ワタキューグループは、医療、福祉、介護の分野において、リネンサプライ、給食、薬局、福祉用具レンタル、人材派遣、建物の設計・施工などの周辺事業を全国で幅広く展開しています。病院運営や管理事務、将来に向けた設備投資などの作業が増えるなか、医療や介護職の方々が、本来なすべき業務に専心できるようにと願い、お客さまのご要望に誠意をもって応え、より高品質できめ細かいサービスを絶え間なく提供するということで、その先の患者さまや利用者さまの「生きる」を支えています。

現在、国の施策として「地域包括ケアシステム」の構築が進められており、ワタキューグループのフィールドは、病院さまや介護施設さま以外のサービス付き高齢者向け住宅や在宅介護関連事業などへも広がっています。来る2022年、創業150年の節目には、海外への展開も含め、サービスを包括的に提供する「セイモアシステム」を軸に、グループ全体で売上高1兆円を目指しています。

この目標に向けたグループ全体の持続的な成長は、常に周囲の方々に「感謝の気持ち」と「謙虚な姿勢」を忘れない社員一人ひとりの自覚と成長によって成り立っています。そのため、社是である『心』の意味を解し、それを実践していく人材の育成は、最重要課題です。2011年に開館した「一心館」では、ワタキュー独自の新入社員教育システムでワタキューイズムを身につけた社員を育てるということはもちろんですが、次世代を担う社会人として羽ばたいてほしいという気概を持って取り組んでい

【ワタキューグループ基本方針】

私達は創業時の原点に立ち還り

- お客様には仕事をさせて頂いている
- 仕入先には売って頂いている
- 協力企業の方々には仕事をして頂いている
- 会社のみなさんには働いて頂いている

という感謝の気持ちと謙虚な姿勢で何事にも接する社風を醸成するとともに、

誰もが思いやりの心を持ち、互いに協力し、人に誇れる

立派な会社に勤めて良かったと思えるグループにする。

以上を礎としてワタキューグループの強固な石垣を構築するため社是を「心」とする。

ます。これが具体的な成果として現れるには時間がかかりますが、いずれグループ全体、ひいては社会全体に好循環をもたらすものと期待しています。一方では、グループの目標に向かって社員が誇りを持って働ける、働きやすい職場づくりを目指し、職場環境の整備にも取り組んでいます。また、社員とともに地域社会とのコミュニケーションの活性化を図る文化事業への協力、森林保全支援活動、スポーツ振興などにも積極的に取り組んでいます。

「ワタキューグループ基本方針」にあるように、お客さま、お取引先、協力企業の皆さまなど様々なステークホルダーに向けて、感謝の気持ちを持って取り組むことをCSRの基本姿勢としています。安全・安心を目指した品質管理や環境への配慮、調達の公正さなど企業が負うべき課題に対しても真摯に取り組み、これからも多くのお客さまから選んでいただけるベストパートナーを目指し、果敢に挑戦を続けていきたいと思っています。



代表取締役社長

安道 光二

【ワタキューグループ経営理念】

我々は企業の存在理由は社会貢献にある事を基礎とし
企業を通じてすべての人びとの健康と豊かな生活に寄与するべく
技術機能を発揮し顧客の要望に誠意をもって応え
最高の品質サービスの提供を続け信頼を得て永遠に会社の発展を目指す
創業時の原点にたち還り時代の変化に対応しつつ
たゆまぬ努力と活動をもって経営基盤の確立と拡大を推進し
社会に報いると共に全社員の生活向上安定を計る事を理想とする

CONTENTS

- 1 社長メッセージ
グループ基本方針／グループ経営理念
- 3 読者の皆さまへ／編集方針／企業概要／財務データ
- 4 グループ会社紹介
- 5 ワタキューグループのCSR
- 6 行動憲章
- 7 CSR経営

特集：豊かな暮らしとともに「生きる」を支える

- 9 健康で豊かな日本の暮らしを
ワタキューグループは支えていきたい
- 11 グループのシナジーで課題の解決に
向かい合う「セイモアシステム」
- 13 「生きる」を支えるために
ワタキューグループが取り組んでいること

ワタキューグループの取り組み

- 15 **地球とともに：安全衛生**
「環境」と「安全」に配慮した最新工場
北海道支店 旭川工場
- 17 **地球とともに：資源リサイクル**
目標は「紙おむつ to 紙おむつ」
トータルケア・システム株式会社 大牟田工場
- 19 **お客さまとともに：食の安全・安心**
お客さまの信頼と満足を得る
心のこもった食事サービスを提供します
- 21 **地域社会とともに**
地域活性化、次世代育成などに力を入れ、
誰もが安心して暮らせる・働ける社会づくりを目指します
- 22 **社員とともに**
事業の継続・発展の礎は人。
社員の可能性を引き出す職場環境を大切にします

読者の皆さまへ

「ワタキューグループ基本方針」を規範とする考え方や取り組みをわかりやすく報告するこの「こころレポート」は、皆さまからご意見をいただいて企業活動に反映させるためのコミュニケーションツールでもあります。

「こころレポート」の活用により、皆さまとのさらなる信頼関係の構築・維持に努め、持続可能な社会の実現に貢献できる企業グループを目指します。

【編集方針】

「ワタキューグループ基本方針」に基づき、ステークホルダーごとの取り組みを報告する形で構成しています。

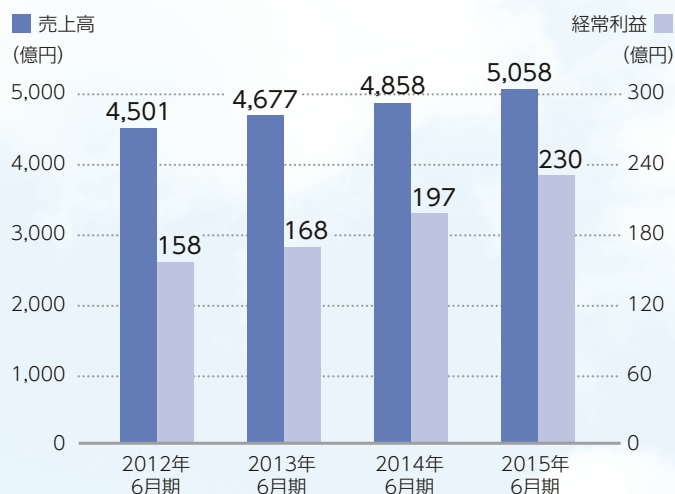
各章の基本的な考え方は不変であるため、2013年度版(2013年11月発行)の内容を引き続き掲載している部分があります。

※参考ガイドライン：環境報告ガイドライン(2012年版)

企業概要

会 社 名	ワタキューセイモア株式会社
創 業	1872年10月
会 社 設 立	1962年7月
資 本 金	4,850万円
社 員 数	84,181名(連結／2015年6月15日現在)
取 引 銀 行	三井住友銀行／南都銀行／みずほ銀行／ 三菱東京UFJ銀行 他
主 要 仕 入 先	伊藤忠商事(株)／倉敷紡績(株)／シキボウ(株) ユニ・チャーム(株)／ナガイレーベン(株) パラマウントベッド(株)／(株)トンボ 住商アイナックス(株)／(株)東京洗染機械製作所 東都フォルダー工業(株)／三浦工業(株) 他

財務データ(連結)



主要グループ会社紹介

ワタキューグループは、全国約84,000名のスタッフで、医療・福祉・健康の分野を専門力と総合力でサポートします。

ワタキューセイモア(株)

<http://www.watakyu.co.jp/>

- リネンサプライをはじめ設備備品サプライ、管理・請負業務、売店運営など、施設内の業務をトータルにサポート

日清医療食品(株)

<http://www.nifs.co.jp/>

- 医療・福祉施設向け給食の受託
- 医療・福祉施設向け食材等販売
- 在宅配食サービス

古久根建設(株)

<http://www.kokune.co.jp/>

- 総合建設業（建築・土木）
- 医療・福祉施設のコンサルティング

綿久リネン(株)

<http://www.watakyu-linen.co.jp/>

- ホテル・レストラン向けリネンサプライ
- 各種ユニフォーム類のリースおよび販売
- ホテル用備品類の販売

(株)フロンティア

<http://www.frontier-ph.com/>

- 保険調剤薬局の運営
- 医薬品・医薬部外品・衛生用品などの販売
- 福祉用具のレンタル・販売
- 住宅の増改築、建て替えおよびリフォーム

(株)メディカル・プラネット

<http://corp.medicalplanet.co.jp/>

- 医療・福祉業界向け専門職の人材紹介・派遣
- 看護助手・医事課業務の受託・派遣
- 医事精度調査・コンサルティング
- 教育研修事業「けあの学校」の運営

**WATAKYU
GROUP**

ワタキューグループのCSR

オンリーワン企業として、地球、地域、職場 それぞれの環境向上に貢献します。

企業活動を通じて社会に貢献すること——ワタキューグループの基本方針である「感謝の気持ち」と「謙虚な姿勢」を持って、身近な環境から地球全体の環境まで、社員一人ひとりが考え、行動し、医療と福祉に携わる企業として、持続可能な社会の実現に寄与していきます。

持続可能な社会への貢献

企業価値の向上

- 安全、安心な製品・サービスの提供
- 各種情報の適切な提供
- お客さま満足度の向上
- 入院、療養、施設居住環境の向上
- お客さま情報の適切な管理

- 地域社会への貢献活動
- 地域活動への参画
- 雇用の創出
- 周辺地域への災害復興支援

- 企業価値の維持と向上
- 利益の適正な還元

- 透明・健全な市場競争
- 高品質な商品・サービスの提供

お客さま

お取引先

- 公平な選定と取引
- オープンな取引機会

地域社会

一般社会
(環境)

- 資源の有効利用
- 地域環境の保全

ワタキューグループ
基本方針

株主

行政

- 法令遵守
- 適正な納税
- 政策協力、提言

業界

社員

- 雇用の維持
- 人権、多様性の尊重
- 人材の育成と活用
- 公正な評価、能力開発
- 安全衛生と健康維持の配慮

ワタキューセイモア行動憲章 | ワタキューセイモア株式会社

私たちは自らの企業使命を自覚し、お客さま、お取引先、役員・社員、業界、行政、地域社会、一般社会などのステークホルダーに対して、以下の行動憲章を定めこれを遵守することを宣言します。

お客さまに対する姿勢

- 私たちは、常にお客さまの視点からの事業を創造し、お客さまの立場で仕事に取り組んでいきます
- 私たちは、私たちの商品・サービスを利用してくださる方々へ安全と安心をお届けします
- 私たちは、お客さまのプライバシーを厳守します

お取引先に対する姿勢

- 私たちは、お取引先を大切なパートナーとして尊重します
- 私たちは、お取引先との契約に基づく対等な関係を維持します
- 私たちは、公正で適正な取引を行います

社員に対する姿勢

- 私たちは、性・年齢・役職・学歴等で分け隔てすることなくお互いを共に働く仲間として尊重します
- 私たちは、いずれの職場にあってもしっかりと仕事に誇りを持ち前向きに取り組めます
- 私たちは、一人ひとりが担うべき事項について責任を果たします

株主に対する姿勢

- 私たちは、積極的に情報を開示して、透明性の高い経営を目指します
- 私たちは、事業活動を通じて健全な利益を生み出します
- 私たちは、企業活動の説明責任を負い、その理解を促進します

業界に対する姿勢

- 私たちは、自由で透明、健全な市場競争を行います
- 私たちは、他社の正当な権利・財産を尊重し、自社の正当な権利・財産の保護に努めます
- 私たちは、高品質の商品・サービスを提供し、その必要性和利便性を訴求します

行政に対する姿勢

- 私たちは、関係法令の遵守および社会的な良識を備えた企業活動を進めます
- 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは、一切の関係を遮断します
- 私たちは、適正な会計基準に則り、会計報告に虚偽等がないように努めます

地域社会に対する姿勢

- 私たちは、その地域社会の文化や規範を尊重し、地域の発展に貢献します
- 私たちは、地域社会の一員として、地域行事等に参加します

一般社会に対する姿勢

- 私たちは、社員一人ひとりが社会貢献を考え行動します
- 私たちは、身近にある環境問題に対応し行動します
- 私たちは、循環型社会に適応した備品等を利用し、資源の保護に努めます

CSR経営

健全な企業経営を行うために。

ワタキューグループの事業活動は様々な形で社会と関係しており、健全な企業経営を行うためには、お客さま、お取引先、社員をはじめとする数多くのステークホルダーの皆さまから信頼を得る取り組みを、積極的に展開することが重要と考えています。

3つのテーマを据えて コーポレートガバナンス体制を充実させています

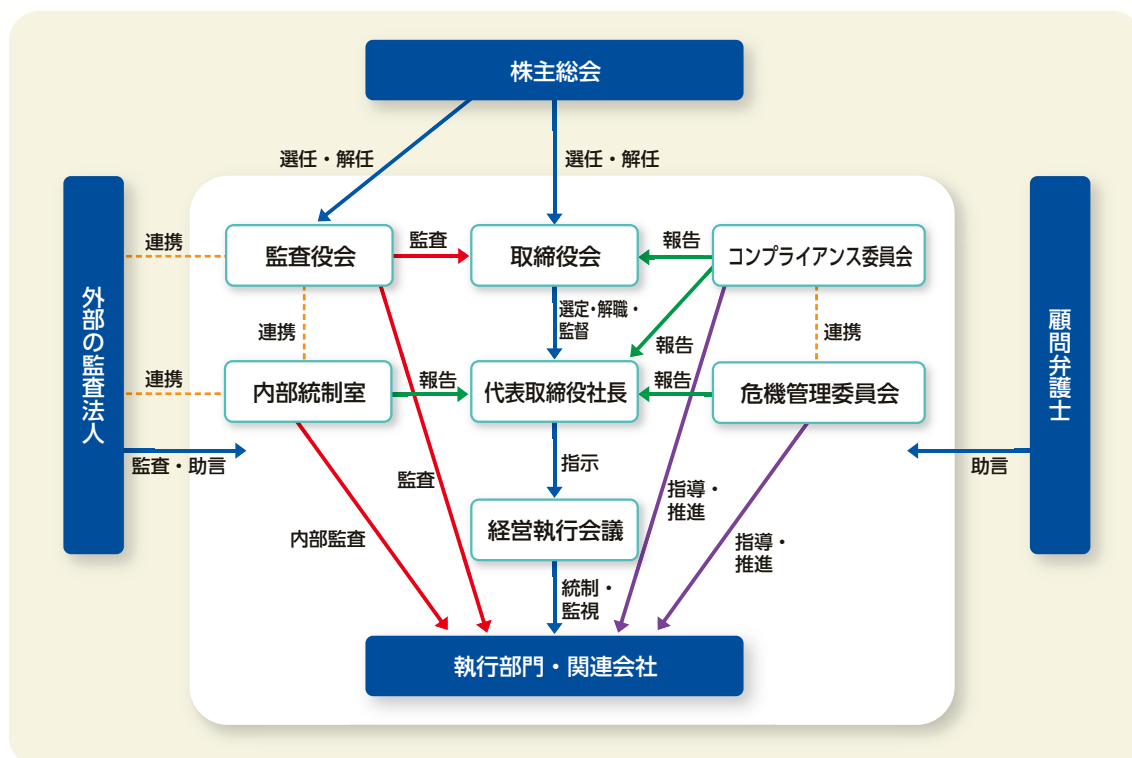
ワタキューセイモアは現在、コーポレートガバナンスとして、「企業経営の公正性・透明性の向上」「適正な意思決定プロセスの確立」「コンプライアンスの徹底」の3つをテーマに取り組みを進めています。

今後も社は「心」の基本方針に則り、ステークホルダーの皆さまから信頼され成長を続けるためにコーポレートガバナンスを充実させていきます。

監査には社外からも参画、執行状況を確認しています

弊社では、「監査役会（社外監査役3名を含む）」と「外部の監査法人」が監査を行い、加えて「内部統制室の内部監査部門」が業務監査により執行状況を確認しています。それぞれの監査人が連携をとり、監査を行うことで、企業の健全な経営と継続的な発展に不可欠な内部統制の構築、運用状況及び有効性の点検・評価に積極的に取り組んでいます。

●コーポレートガバナンス体制図



適正業務がなされているか、 権限を持った内部統制室が監査・調査を実施

弊社では、業務を適正に執行し、さらにはその体制を維持していくために、社長直轄の内部統制室を設置しています。適正な財務報告・社会法規や社内規程に基づく業務・公正な商慣習の遂行・基本方針の実践・経営方針に沿った業務などが主な監査や調査の対象です。監査・調査の結果は社長に報告し、これを受けた社長が自ら改善や是正などの指示を発することで、適正業務の確保を図っています。

危機管理マニュアルやセミナーでリスクマネジメント・啓発を実施 万が一のときは緊急対策本部を設置

弊社では、リスクマネジメントを健全経営のための大切な活動としてとらえています。危機管理委員会が中心となり、危機管理マニュアルの作成やグループ全体を対象とした危機管理セミナーの定期的な開催など、事象に対する啓発活動を行っています。万が一のときには、設置基準に基づいて社長が緊急対策本部を設置し、事務局を中心に発生した事象に適切に対応、問題の早期解決を図ります。「発生の予防」と「発生後の対応」の両面から取り組みを進めています。

社員研修などで遵法意識を徹底 重要な問題は委員会で審議

弊社では、社員研修やマニュアルの配布を行い、遵法意識を教育しています。さらに内部統制システムの稼働による調査や重要な問題を審議する社内コンプライアンス委員会の設置により、法令遵守の徹底を図っています。

内部情報共有システムやTV会議で 情報セキュリティの周知を徹底

弊社では、情報セキュリティに関わる規程を作成し、IT統制を行っています。また、全社員がいつでもアクセスできる内部情報共有システムで公開しています。新たな技術やツールの導入に対応するとともに、必要に応じた規程の追加や見直しを行って随時更新しています。特に重要な事項については冊子の配布やTV会議システムの使用などによる社員教育を実施し、内容の周知徹底を図っています。タブレット端末については、一元管理することでウイルス感染と情報の漏えい防止、双方の対策を実施しています。

特集

豊かな暮らしとともに 「生きる」を支える

健康で豊かな日本の暮らしを
ワタキューグループは支えていきたい。

ワタキューグループは、医療・福祉の現場を総合的にサポートする多様なサービスを提供し、その事業を通じて、患者さまや高齢者の方々の健康で豊かな生活に寄与することを目指しています。

さらに、社会から求められ続ける企業グループであるためにも、医療や福祉分野にとどまらず、社会が抱える課題に取り組むことが大事だと考えています。

つまりすべての人々の「生きる」を支えることが使命であり、ワタキューグループの社会的責任であると考えています。



ワタキューグループでは、多くの患者さまや利用者さま、お取引先よりご意見を頂戴し、グループのサービスや製品の充実に努めていますが、それらご意見の背景にある超高齢社会が抱える課題に対し、本業を通じて取り組むことが重要だと考えています。

さらに、持続可能な社会の実現のために、企業として関わりのある、本業以外の課題にも取り組むべきだと考えています。

ワタキューグループが重要だと考える社会課題



超高齢社会を迎えての課題

- ✓ 増加し続ける国民医療費の抑制
- ✓ 高齢者に質の高い医療・福祉サービスの提供
- ✓ 健康に良い、美味しい食事の提供
- ✓ 医療・福祉の現場で不足する人材の供給
- ✓ 高齢者が暮らす場所・施設の供給
- ✓ 家族の介護負担の軽減



地域社会が抱える課題

- ✓ 地域の人的・経済的活性
- ✓ 雇用創出
- ✓ 次世代育成
- ✓ スポーツ・文化の振興



地球が抱える課題

- ✓ 地球温暖化の防止、生物多様性保全

特集 豊かな暮らしとともに「生きる」を支える

グループのシナジーで課題の解決に向かい合う「セイモアシステム」

医療・介護現場における多様なサポート業務。それらすべてをワタキューグループが一括してお引き受けすることで、高品質で安定したサービスを継続して提供できます。

ワタキューグループは、医療・福祉を中心にしたサービスの提供を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

セイモアシステム（ワタキューグループの包括委託サービス）の特長

- 窓口の一本化により契約・支払いなどの事務作業を軽減
- 複数業務委託により人材の横断と連携による効率的な人員配置を実現
- 継続的な業務改善によりサービス品質を維持・向上

……▶ 病院さま・施設さまの運営に貢献

病院A
では

メンテナンス付き
リースシステム

売店・喫茶運営

総合物品管理 (SPD)

清掃業務

医療・福祉系
人材紹介・派遣

院外調剤薬局

ワタキューセイモア株式会社

医療機関さま・福祉施設さま向けリネンサプライ事業を中心に、総合アウトソーシングサービスを提供しています。

主な
サービス

メンテナンス付き
リースシステム

中央材料室業務
(洗浄・滅菌・物品供給)

総合物品管理 (SPD)

リネン管理業務

手術室補助業務
(清掃・消毒・補助)

洗濯管理業務

設備管理・保守管理
(FM:ファシリティ・マネジメント)

清掃業務

感染性廃棄物処理管理

売店・喫茶運営

ベッドメイク・看護助手業務

日清医療食品株式会社

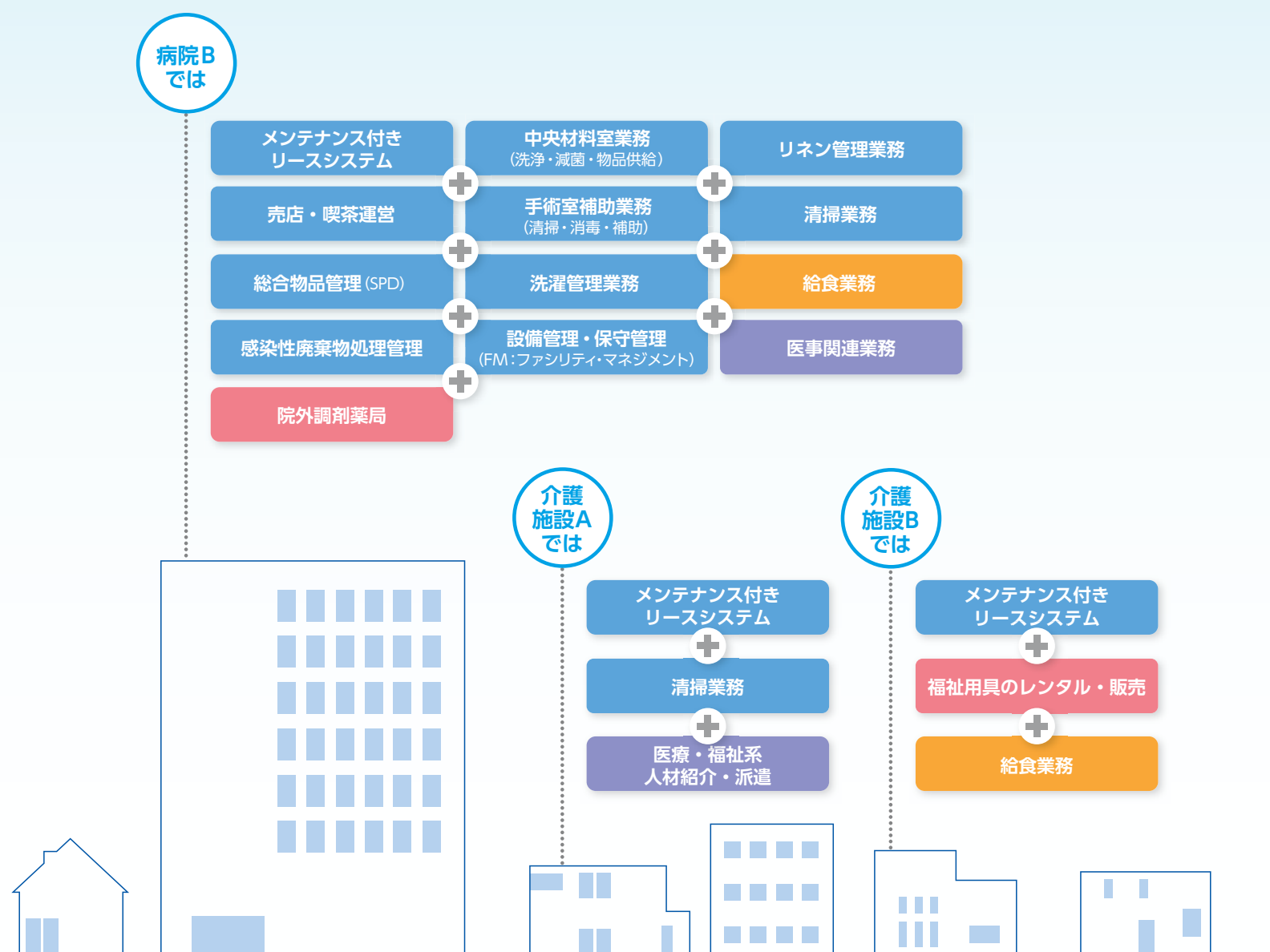
医療機関さま・福祉施設さまなどで、お客さまの信頼と満足を得る、心のこもった食事サービスを提供しています。

主な
サービス

給食業務

保育施設向け
給食サービス

宅配弁当サービス



株式会社フロンティア

医療と福祉を軸に、地域に根ざしたサービスを提供しています。

主な
サービス

院外調剤薬局

福祉用具のレンタル・販売
住宅改修

サービス付き
高齢者向け住宅

訪問看護・
訪問介護サービス

株式会社メディカル・プラネット

医療・福祉業界における、専門職の人材紹介・派遣、業務受託など、幅広いニーズに対応しています。

主な
サービス

医療・福祉系
人材紹介・派遣

医事関連業務

古久根建設株式会社

「選ばれる病院」「選ばれる施設」づくりのために、設計・施工からリフォームまで、総合力でサポートしています。

主な
サービス

医療・福祉施設の設計・施工／
施設開設のコンサルティング

たくさんの病院さま・施設さまに導入していただいています。詳しくは、ワタキューセイモアのサイトをご覧ください。

<http://www.watakyu.co.jp/job/> (ホーム > 導入事例)

特集 豊かな暮らしとともに「生きる」を支える

「生きる」を支えるために ワタキューグループが取り組んでいること



ワタキューセイモア株式会社

課題・ニーズとサービスを 結びつけ、 利用者のQOL向上をサポート

毎日のことだからこそ、衣服やリネン類の洗濯、掃除などをリーズナブルに高い品質で提供する。このことは、病気で入院している皆さまや、高齢で施設に入所している皆さまとご家族の時間的負担や経済面、精神面での負担を軽減することにつながります。また、施設さまの効率の良いオペレーションを支え、本来の医療サービスの向上を支えることにもなります。ワタキューグループの持つ様々なソリューション、サービスをどうコーディネートするか。ワタキューセイモアの重要な役割だと考えています。



ヘルスケアフードの明日を考える
日清医療食品株式会社

安全・安心な食のサービスを 食のよろこびとともに 提供しつづける

ヘルスケアフードサービスのリーディングカンパニーとして、高度な専門性と思いやりをあわせ持つ人材育成に注力しながら、全国で事業を展開。患者さまの快復や、福祉関連施設に入所されている皆さまのQOL向上を「食」の面から支えるとともに、「食べるよろこび」を提供しています。患者さまや高齢者の皆さまのよろこびを自分たちのよろこびとして、誇りと責任を持って日々の課題と向かい合い、サービスに活かしています。



人と心を大切に

株式会社フロンティア

地域の皆さまに安全で安心な 医療・福祉サービスを お届けする

調剤薬局ならびに福祉用具レンタル事業を核とし、近年では、居宅介護支援事業、訪問看護事業、訪問・通所介護事業そしてサービス付き高齢者向け住宅の運営にも参入しています。「人と心を大切に」を企業スローガンに掲げ、地域に根ざした健康・福祉関連サービスを提供しています。

●群馬県前橋市の例

群馬県前橋市では、フロンティアの7つの事業所が5km圏内に位置し、多職種による連携を図りながら、地域の皆さまの生活をサポートしています。

ウェルスタイル前橋 居宅介護支援事業所

支援や介護が必要な人に対し、ケアマネージャーが認定申請のサポート、要支援、要介護認定者の居宅サービス計画(ケアプラン)作成のサポートをする事業所

株式会社フロンティア 群馬営業所

福祉用具のレンタル・販売、身体の状態の変化とともに必要となる住宅改修の提案・施工

メディカル・プラネット Medical Planet

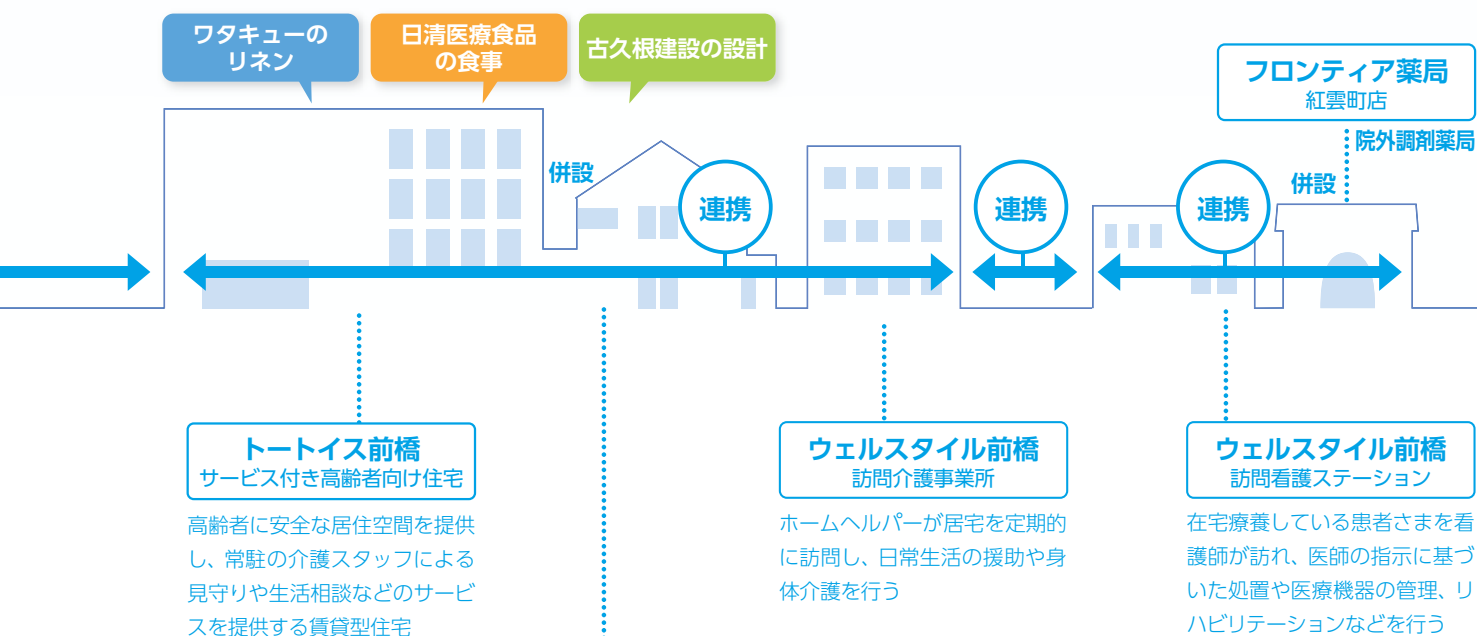
超高齢社会を迎え、 深刻な医療・福祉現場の 人材不足の緩和に取り組む

働く側、雇う側双方に喜ばれる。医療・介護スタッフの皆さまが本来の業務に専念しやすい最適な環境を提供する。私たちは、医療・福祉業界における「専門職の人材紹介・派遣」「業務受託」などを通じてこの大切な役割を果たしています。あわせて、超高齢社会における人材確保には人材創出も不可欠となります。そこで「教育研修」にも力を入れるなど、医療と福祉を支える人材とともに歩み続けています。

古久根建設株式会社

豊富な設計・施工実績を活かして 選ばれる医療・福祉施設を 創り出す

少子高齢化が進行する社会では、家庭での介護を十分に受けることが困難なケースも増加します。高齢者福祉施設の果たす役割は大きく、その施設に求められる機能や安全性は非常に高いレベルになります。過去に病院などの医療機関や高齢者福祉施設建設などの事例を手掛けてきた実績を活かし、お客さま、そして利用者さまのニーズに応えていきたいと考えています。



ウェルスタイル前橋
デイサービスセンター

要支援・要介護の方に、入浴、食事、機能訓練、レクリエーションなどのサービスを提供する通所型施設

ワタキューグループは、高齢者向け住宅や介護保険事業所のほか、待機児童問題の解消や地域の子育て環境整備など、働く女性支援・子育て支援につながる保育園事業にも取り組んでいます。

ワタキューグループの取り組み

地球とともに：安全衛生

「環境」と「安全」に配慮した最新工場 北海道支店 旭川工場

旭川工場は、道北地域の主力工場であり、環境面、安全面、さらに社会面でも最先端の要素を取り込んだ施設です。厳しい自然環境とも、地域とも調和することを意識し、お取引先、お客さまに最高品質のサービスをお届けします。

最新の環境対応

2014年5月に竣工したワタキューセイモア北海道支店旭川工場は、グループ会社である古久根建設がすべての工事を請け負いました。冬はマイナス25℃にもなり、夏は34℃にもなるという気候条件に鑑み、空間を大きく取り工場内の空気量を多くしたことにより「熱しにくく冷めにくい」構造としています。通常は屋外に設ける集配トラックのヤードを建物1階の屋内に配置し、外気を遮断することで、積雪寒冷な冬季でも効率的な積み卸しが可能な環境を構築しました。

また冬季は、天井付近に滞留する熱気を1階の入荷場や出荷場に吹き降ろす循環送風により、外気温は氷点下20℃でも工場内は防寒着など着用しなくても作業できるため、エネルギーを消費する暖房装置を設置していません。

このほかにも、工場内の機械設備に供給する熱源であるボイラーの燃料には、道北地域の大型工場では初めてLNG（天然ガス）を採用しCO₂の排出量を抑えています。

今回、乾燥機では日本初の試みとして、排出蒸気ドレンの自己熱回収システム（単体での排熱回収）を搭載しました。これによって無駄な熱の放出を防ぎ、エネルギー効率を上げ、環境負荷を減らしています。さらに将来的には洗濯排水を50%以上リサイクルできるように新水用の設備に加えてリサイクル水用の設備も設置できるように設計しています。

工業団地内と言うこともあり騒音や振動に関する規制はありませんでしたが、ボイラーの煙突には吸音煙導「スーパーサイレンサー」を全国で初めて採用し、ガスボイラー特有の燃焼音の低減に効果を発揮しています。

工場自体の環境配慮



環境配慮

ボイラーの燃料にはLNG（天然ガス）を採用しCO₂の排出量を抑制



環境配慮

ロール仕上げ機や乾燥機、洗濯脱水機、連続式洗濯機に加えボイラー缶体まで、機械内部で「放熱を抑える保温処理」を実施

環境配慮

外気を遮断する集配トラックヤード

北海道支店 旭川工場

規模はS造、2階一部3階、延べ1万1063m²。

寝具などのリネン製品、ホテルリネン及びユニフォームのクリーニング工場、生産量は稼働当初で1日当たり15t弱、フル稼働で約25tを計画する。

ワタキューセイモア株式会社
北海道支店
旭川営業所 旭川工場

安全面も充実。地域の雇用も支える

工場内機械設備の危険と思われる箇所はすべて黄色くペイントして注意喚起し、安全柵は容易に足をかけられない、また入りこめない高さに設計しました。

また、連続式洗濯機周りの安全対策として、スリングバッグから連続式洗濯機への投入時や脱水機からリフトコンベアの間に中継コンベアを配置することで、昇降動作時の危険を回避しています。

さらに床材の色を変えることで「作業エリア」と「通路」を識別し

やすくしています。床材には長尺塩ビシートの「グラニット」を選定し、立ち作業時の疲労軽減を図っています。この床材は、台車の転がり性能が良いのに加え滑りにくく、また耐薬品性能も持ち合わせ、塩素などを使用したモップ清拭消毒も可能です。

新工場では、閉鎖した協力工場から全社員56名を引き継ぎ、欠員分は地元で新規雇用しました。最寄り駅は時間帯により電車が止まらないなど交通が不便なため送迎バスも運行しています。

労働安全衛生面での取り組み



取り組み

機械設備の危険と思われる箇所はすべて黄色くペイント



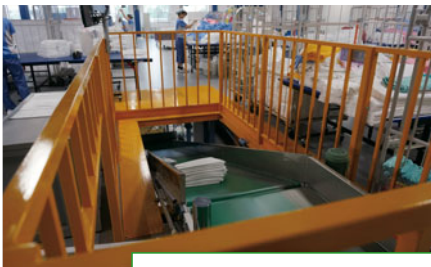
取り組み

動作時にランプ点灯。
下部コンベア内にもフラッシュライトを設置予定



取り組み

脱水機の後の中継コンベアを接続してスペースの確保を行い、脱水機のトラブル時、リフトコンベア昇降動作時の危険を回避



取り組み

階下へ製品を運ぶコンベア。
コンテナに積み、エレベーターで移動する作業が軽減されている



取り組み

消火器設置場所は、高い位置に赤く表示することで、遠くからでも識別可能



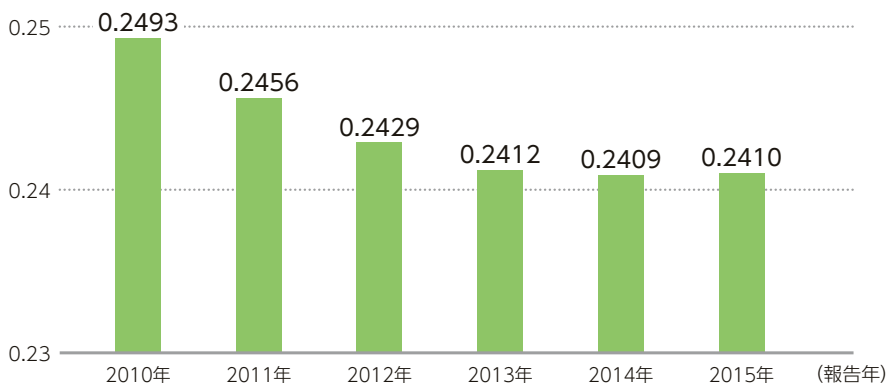
取り組み

通路は床材の色分けで識別。
ラインテープにありがちな糊のベトベト跡もない

省エネルギー目標達成に全社で取り組んでいます

生産部門エネルギー原単位

(原油換算k ℓ /トン)



ワタキューセイモアは、2010年施行の改正省エネ法により、一定以上のエネルギーを使用する特定事業者指定を受け、それまで一定規模以上の工場ごとに行っていた省エネの取り組みやエネルギー使用の届出を、全社を挙げた取り組みに位置づけました。

中長期目標を設定して諸施策に取り組み、実績を上げています。

地球とともに：資源リサイクル

目標は「紙おむつ to 紙おむつ」 トータルケア・システム株式会社 大牟田工場

高齢化社会の進行にともない、その使用量が増加している紙おむつ。介護施設や家庭から出る使用済み紙おむつの処理という問題に自治体は直面しています。ごみとして焼却するのではなく、資源とすることで、CO₂の削減など様々な環境負荷の低減を目指すという画期的な取り組みが始まっています。ワタキューセイモア九州支社が一部出資している紙おむつのリサイクル施設であるトータルケア・システム株式会社 大牟田工場をご紹介します。



1日10万枚の紙おむつを処理

「樹齢15～30年の針葉樹からとれた良質のパルプが紙おむつの原料。たった1回の使用でごみとして焼却してしまうのはもったいない。リサイクルができれば、省資源・ごみの減量・温暖化防止にもつながる」。紙おむつなどを販売する会社を営んでいた、長武志社長の熱い思いから、紙おむつの素材を分離・回収する、水溶化処理システムを考案。福岡県・福岡大学との共同研究を経て、2000年 産学官共同研究開発事業の認定を受け、2001年 事業会社 トータルケア・システム株式会社を設立、2002年「使用済み紙おむつの使用材料の再生処理方法」の特許取得、2003年 大牟田エコタウン立地協定締結、水溶化処理プラントを建設し、2005年、全国初の事業として「紙おむつリサイクル」をスタートしました。

現在は、福岡・佐賀・鹿児島などの230の医療機関、福祉施設と、福岡県大木町（自治体）から紙おむつを受け入れており、1日最大20トン（約10万枚）の処理能力のプラントを稼働させ、再生パル

プは建築資材の原料などになっています。

ワタキューグループは、病院さまや施設さまのリネン類を繰り返し清潔に甦らせてお使いいただくというリサイクルの観点に立っています。また全国で大量の紙おむつを扱う事業を展開していることから、省資源や環境負荷の低減などの社会的課題の解決への意義を強く認め、その趣旨に賛同し、ワタキューセイモア九州支社は、トータルケア・システム株式会社に一部出資し、使用済み紙おむつの収集・運搬で協力させていただいています。

トータルケア・システム株式会社

本 社：福岡市博多区博多駅東3-9-26

工 場：大牟田工場

福岡県大牟田市健老町466番1（大牟田エコタウン内）

代 表 者：代表取締役 長 武志

業務内容：使用済み紙おむつの水溶化処理、再生パルプ等の販売、紙おむつリサイクル事業の総合プロデュース

環境課題の解決に

国内の紙おむつ生産量は、特に大人用で10年前の1.6倍と急増しています。使用量も高齢化社会の進行とともに増加し、2012年に排出された紙おむつは約145万トン、2025年には約250万トンに上ると試算されます。使用済み紙おむつは、そのほとんどが焼却処分され、燃やすごみ総量の10%近くを占める自治体が増えてきています。

水溶化処理*システムによるリサイクル処理をすることで、パルプ資源の確保ができ、焼却処理に比べて、二酸化炭素の排出を約40%削減できると学会で発表されています。再生パルプの純度は高く、再生紙おむつの試作品もできています。将来的には、「紙おむつ to 紙おむつ」を目指しています。

※水溶化処理 紙おむつを水と薬品を用いて組成別（パルプ、不織物、高分子吸収材）に分離するマテリアルリサイクル。

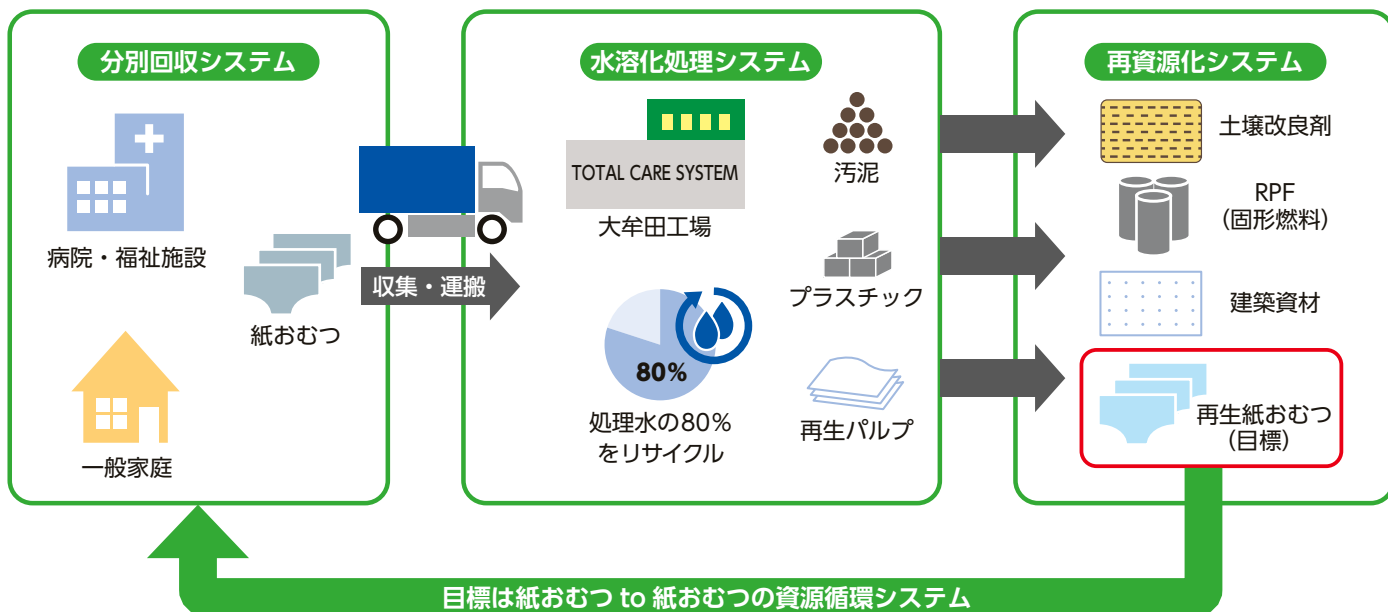
環境事業から福祉事業、地域創生へ

現在、使用済み紙おむつの排出量の内訳は、家庭系70%、医療系30%と言われています。

「ごみゼロの町」を目指す福岡県大木町では、2011年10月、自治体では全国初の試みとして、家庭から出る紙おむつの分別回収をスタート。トータルケア・システム株式会社と連携し、リサイクルシステムの構築を実現しています。また高齢者が指定ボックスまで運べないという問題が生じたことから、町がシルバー人材センターに委託して家庭まで出向いての回収支援を始め、さらに包括支援センターと情報を共有して、高齢者の見守り体制を強化するなど福祉サービスとしての効果も生み、元気な高齢者（シルバー人材）の新たな生甲斐、目標になるなど、超高齢社会ならではの社会システム構築につながっています。

2015年10月からは福岡県みやま市でも家庭系紙おむつのリサイクルがスタートしています。また、大都市圏においては、2013年7月、福岡県と福岡都市圏17自治体が連携して「福岡都市圏紙おむつリサイクル検討委員会」が開かれています。

環境にやさしい紙おむつリサイクルシステム



再生された資源



エコパルプ：回収した紙おむつを処理し、再生したパルプ



廃プラスチック：紙おむつを分別処理して取り出したプラスチック



再生紙おむつ：試作品

お客さまとともに：食の安全・安心

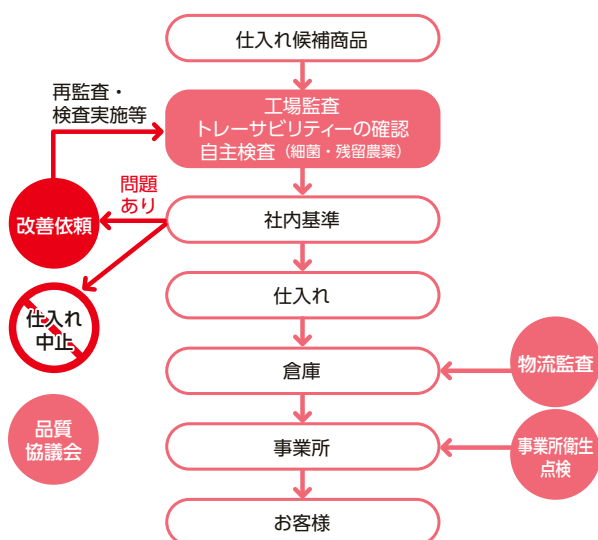
お客さまの信頼と満足を得る 心のこもった食事サービスを提供します。

日清医療食品は、食のなかでも最も安全・安心が求められる医療・福祉向けの食事を提供する企業として、食材の仕入れから提供まで厳しいチェックの仕組みを構築し、三度の食事を365日、欠かすことなくお届けするための体制を強化しています。

日清医療食品の安全への4つの取り組み

- ①事業所からの要望に応えるため、一つひとつの商品についてメーカーと協議を重ね、試食の実施・商品情報等を確認し、独自の基準にて仕入れを行うかどうかを決定しています。
- ②商品決定後、商品情報・トレーサビリティの確認・工場監査及び第三者機関による検査（細菌・残留農薬等）を行い、社内基準をクリアした商品のみ仕入れ販売しています。
- ③仕入れ後の商品は、定期的に仕入先さまの品質担当者さまと直接お会いし、品質管理状況の確認、情報交換を行う場を設け、より良い商品をお届けできるような体制を構築しています。
- ④事業所での安全は、全国約150名の衛生委員が3カ月毎に各施設を巡回して衛生管理の実態をチェックしています。
月1回スーパーバイザーによる点検や、定期的にチーフ会議にて衛生面での研修を実施。さらに衛生管理室による定期的な衛生点検を実施しています。

食の安全・安心フロー図



工場監査の様子



物流監査の様子

高品質で多彩なサービスを提供

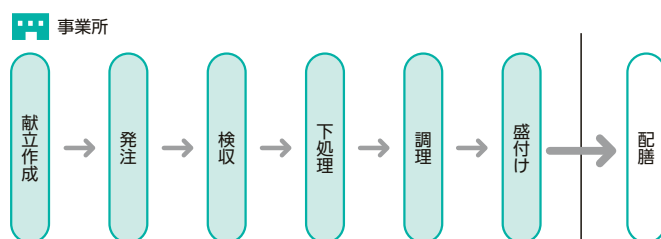
多様化するニーズへの対応の一つとして、日清医療食品は、クックチル商品である「モバイルプラス」を全国のセントラルキッチンで提供しています。各現場での調理負担を軽減するとともに、喫食者のQOL向上につながる商品になります。

また、各メーカーさまにご協力をいただき、噛む、飲み込むことが困難な方に向けての商品もさらなる充実を図っています。

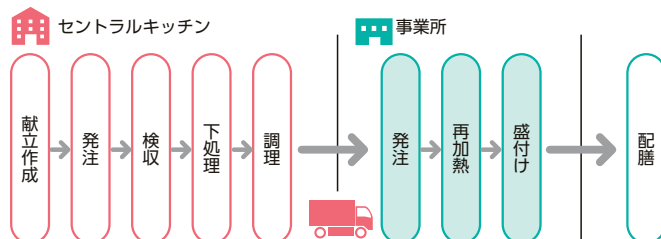
さらに在宅療養や予防医学のニーズの高まりを背景に、自宅で過ごす方々に食事をお届けする「食宅便」を展開しています。メニューのバリエーションの豊富さに加え、これまで培ってきた栄養管理、品質管理などのノウハウを活かした「ケアシリーズ」は、塩分制限や、カロリー制限を必要とする方はもちろん、生活習慣病の予防・改善にも役立つとして、好評をいただいています。

モバイルプラス イメージ

現行の食事提供の流れ



モバイルプラスの流れ



食宅便「ケアシリーズ」の献立例



「3Dムース食」の一例

日清医療食品の災害時の取り組み

事業継続に向けて、4つの施策を強化推進しています。

①非常用備蓄倉庫の設置

全国13ヵ所に「非常用備蓄倉庫」を設置し、非常用品や消耗品を備蓄しています。

②災害時献立の考案

火や水を使わずに食べられる「災害時献立」を3日分備蓄することをお客さまに提案しています。

③ヘリコプター運用会社との契約締結

陸路が寸断されても物資運搬ができるよう、ヘリコプター運用会社2社と非常時対応契約を締結しています。

④通信手段の強化

全国の支店にMCA無線、大容量の蓄電池を配備。被災状況を素早く確認するため、ご契約先事業所責任者さまの携帯電話を利用した「安否確認システム」を導入しています。



ヘリコプターでの物資輸送訓練



地震対策マニュアル（上：厨房用 下：本社支店用）

2011年3月に発生した東日本大震災で判明した課題を解決するため、マニュアルの全面改訂に取り組みました。今後、震度6弱以上の地震発生時には、このマニュアルに沿って本社・支店・ご契約先事業所が連携しながらの対策が実施されます。

非常用備蓄品を備えた日清医療食品の物流倉庫

● 非常用備蓄品を備えた倉庫

★ セントラルキッチン

● 指定倉庫

■ 配送センター



ヘルスケアフードサービスセンター米子



ヘルスケアフードサービスセンター京都
(2015年10月稼働開始)



ヘルスケアフードサービスセンター九州

北海道小樽市

愛知県小牧市

長野県上高井郡

岩手県紫波郡

宮城県仙台市

埼玉県越谷市

神奈川県川崎市

大阪府高槻市

広島県東広島市

愛媛県新居浜市

熊本県上益城郡



ヘルスケアフードサービスセンター名古屋

沖縄県浦添市



ヘルスケアフードサービスセンター岩槻

非常用備蓄品

- ・ 備蓄用水(2リットル)
- ・ 使い捨て蓋付椀
- ・ カセットコンロ
- ・ カセットボンベ
- ・ 食品用ラップフィルム
- ・ ガソリン缶
- ・ プラスチックコップ
- ・ 先割れスプーン
- ・ 簡易トイレ
- など

地域社会とともに

地域活性化、次世代育成などに力を入れ、誰もが安心して暮らせる・働ける社会づくりを目指します。

井手町泉ヶ丘中学で面接マナーの特別授業

創業の地である京都府井手町の、高校受験を控えた中学3年生を対象に、面接マナー講習を毎年行っています。ワタキューセイモア総務人事本部で採用や教育を担当する社員が講師を務め、部屋に入るときのお辞儀の姿勢や元気のよい挨拶の大切さなど、面接のポイントをアドバイスしています。将来の夢へ向けての一步を踏み出そうという次代を担う中学生を応援します。



面接の練習に臨む生徒たち

地域の自然を守る活動を継続

ワタキューグループは、地域の清掃活動や富士山クリーン活動などの環境保護活動を続けています。

2014年9月には、おたる自然の村周辺の「ワタキューの森」にて、森林整備活動を開始しています。また2008年より京都府などと協定を結び取り組んでいる井手町の大正池森林保全支援活動では、年2回の全体活動時に、毎回100名を超える社員が参加し、地域の皆さまとともに生物多様性保全の取り組みを進めています。



大正池森林保全支援活動の参加者

人材の多様性推進への取り組み

ワタキューグループでは、高校生や特別支援学校生の職場見学や実習、障がい者の雇用、外国人実習生の継続的な受け入れなどを積極的に行い、多様な人材を採用しています。日清医療食品「ハーティセンター」(雇用開発推進室)などの設置もその一環です。また、株式会社ワタキュークリーン(北海道)は、障がい者雇用における子会社特例の厚生労働大臣認定を受けています。

※ワタキューセイモアの障がい者雇用率：2.51% (2014年4月～2015年3月)



ていねいに作業をするハーティセンターの社員

スポーツ振興をサポート

ソフトテニス部の活動や京都マラソンへの協賛などの他に、個人が頑張っているスポーツなども応援しています。

ソフトテニス部では、ジュニア選手向けの講習会を実施しています。国内トップクラスの選手を集めた第1回日本実業団選抜選手権大会「京冬カップ」を2015年3月に京都で開催。また、世界10カ国以上から選手が参加する国際大会「ワタキューカップ」を欧米各地で年1回開催するなど、地域の活性化とともに競技の普及・発展にも力を入れています。



ワタキューカップ2015 in 京都(2015年9月)は初の国内開催

社員とともに

事業の継続・発展の礎は人。 社員の可能性を引き出す職場環境を 大切にします。

ワタキューグループの「心」を育てる研修センター

ワタキューグループ研修センター「一心館」は、人材育成拠点として、社は「心」のもと「感謝の気持ち」と「謙虚な姿勢」で何事にも接するワタキューグループ社員を育成することを目指して設立されました。社員一人ひとりの成長が会社の成長となることを目指す教育の場です。新入社員はここで丸1年間の研修を受けます。挨拶・礼儀・規律も一から教育を受け、社会人として、ワタキューグループの一員としての基礎を身につけます。また、グループの社員向けの各種研修も実施しています。

まったく何も分からないまま入社してきた新入社員も、お辞

儀や礼儀作法がなぜ必要なのかを自分自身の中で理解できるようになることで甘えが消えていき、様々な実習を経て人を思い、理解することの大切さを知ります。そしてプロとして、仕事に臨むということがどういうことなのかを、1年かけて身につけていきます。

お客さまの立場に立って考えること、常に感謝の気持ちを忘れないこと、すなわち、社であるワタキューの「心」を持った人間に育ってほしいと考えています。



グループワーク



車椅子の取扱いを学ぶ講座



富士山クリーン活動も研修の一環



ベッドメイク実習



医療機関での実習



1年間の研修の締めくくり・修了プレゼンテーション

ワタキューグループ プレゼンテーションコンテスト

2015年8月、ワタキューセイモアと日清医療食品の社員による、「第二回ワタキューグループ プレゼンテーションコンテスト」が開催されました。

2社合同でチームを作り(今回は沖縄綿久寝具からも参加)、全国各エリアの予選会を勝ち抜いたチームが優勝を目指しました。社員の「伝える力」を高めるとともに、互いの事業の理解を深め、グループシナジーを発揮することで、お客さま満足度向上を目指します。





ワタキュー セイモア株式会社

〒600-8416

京都府京都市下京区烏丸通高辻下ル薬師前町 707
烏丸シティ・コアビル

<http://www.watakyu.co.jp/>

報告範囲

対象組織:ワタキューグループ

対象期間:2013年7月1日から2015年6月30日

(対象期間外の情報はその都度表記)

発行時期:2015年11月

(前回2013年11月/次回発行予定2017年11月)

詳細な情報は、ワタキューセイモアのホームページ

<http://www.watakyu.co.jp/>

またはワタキューグループのポータルサイト

<http://www.watakyu.jp>

をご覧ください。

お問い合わせ先:

ワタキューセイモア株式会社 広報室

e-mail:kouhou@watakyu.co.jp

CSR推進実行委員会

e-mail:csr@watakyu.co.jp

「ワタキューセイモア」の社名・ロゴの由来

「ワタ」は創業時の製綿業、

「キュー」は創業者・村田久七の名前を由来とし、

セイモアの「セイ」は

生活・人生・生命の「生」、

清潔・清純・清秀の「清」、

誠実・誠意の「誠」を意味しており、

これらをより広く、多くの人に提供していく意志を
込めた「モア」と合わせています。



コーポレートマークは、生命を育む「青い地球」を
イメージし、「ヒトへの共感」「先進的な創造性」
「広域的な発展性」というメッセージを、
躍動するWの文字と
それを取り巻く色彩に託しています。

